

テーマ：感染症対策を踏まえた働き方改革

視点1 行政との連携や働きかけ

- 市教委と校長会代表者による「働き方改革推進委員会」の設置
  - ・参加者：学校教育課長 学校教育課総括 校長2名
- 主な取組（令和3年度実現）
  - ・「教職員働き方改革アンケート」の実施
  - ・留守番電話対応に対する保護者向け文書の発信
  - ・留守番電話対応の実施
  - ・学校への作品（国語・図工美術等）等の応募依頼の縮減
  - ・校内校務支援システムの導入
  - ・学校サポーター（消毒作業等）の活用
  - ・通知票年2回（3年生は、3回）の実施
  - 教職員アンケートから、次年度以降継続の要望が多かった。

視点2 自校での取組（アンケート調査から）

- 校長会取組5項目の継続（令和3年度達成率85%）
  - ・定時退勤日 ・成績処理期間の設定 ・常陽銀行JW導入
  - ・働き方改革推進委員会の有効活用 ・職員会議1時間以内
- 各校での具体的な取組
  - ・5時間授業日を設定して、生徒と教職員にゆとりをもたせるようにした。
  - 教職員アンケートから、次年継続の要望が多かった。
  - ・タブレットを活用しての集会等、行事の効率化を図った。
  - ・勤務時間外在校時間の見える化を行い、教職員の意識化を図った。
  - ・グーグルフォームを活用した保護者アンケートの実施
  - ・ZOOMによるオンライン始業式と終業式の実施
  - ・月別勤務時間個票を作成して配付し、教職員の意識化を図った。
  - ・欠席連絡をメール化して、朝の欠席電話対応時間を減らした。

視点3 次年度に取り組みたいテーマ

- 新しい生活様式に基づく取組
  - ・事務処理時間の確保→カリキュラムマネジメント
  - ・行事の見直し→体育祭及び文化の時短開催 市主催行事への参加の精選 等
- 部活動指導軽減に向けての方策
  - ・平日2日の休部日の設定
  - ・令和5年度「土日の部活指導の在り方」について（市教育委員会との協議）